

●第 24 回総会第 3 回理事会

古川章特別代表を始め理事 14 名中 10 名の出席のもとで第 3 回理事会が 里山の会事務所で開かれて、2018 年度活動報告と中間決算が報告されました。活動報告では個別専門会議を 14 回開きボトムアップ方式による運営改善に取り組んだこと、中聖牛の設置、36 ヲ所の希少種保全の業務作業、里山農園の洞穴ルートの新設、カスミサンショウウオ生息池の安全度アップ対策と昨年を大きく超える卵囊発見、そしてボランティア活動における作業に対して謝礼金を出金できたこと、いずれも画期的念願であった成果が報告されて、承認されました。また決算では理解が進めやすく細部の資料追加の要望があり、相当な決算額になるという予想の上、従来通りの決算方法を踏襲することも確認されました。次年度の活動方針案では 25 周年記念前年にあたるので、記念事業全般について検討会を早期に立ち上げようとの要望意見がありました。次に第 3 次中聖牛の設置を京都大学と共同で行うこと、少なくとも 3 ヶ月前にはイベントの内容を決定することも主張されました。いずれも第 25 回通常総会への提案がおおむね了承されました。続いて懸念の次年度の役員体制については理事全員が発言を行い、自らの進退を表明しました。継続して頑張るには 6 名、いま表明しないが 3 名 退任したいが 3 名ということになりました。対応策として木曜日の午後に有志の理事の会議をもって検討していくことになりました。初回は 11 日の午後に開催されます。また新理事への推薦候補者が 2~3 名上げられました。

●第 12 回親子花見乗船体験

早くから今年は開花が早まるとの予想でしたが、3 月 31 日にはちらほら咲きから三分咲きに進む中での取組みでした。水曜日に乗り降り場の設置を 6 名で組上げ、金曜日にはカヌー 7 台を運びこみ土曜日には E ボート 2 艘を借り上げておきました。

土曜日の午前中には数人の皆さんが集まってくださってテント立てを行っていただきました。当日は 8 時に集合する方もあって、カヌーの運び出し、9 時には摂南大学の皆さんが E ボートの空気入れが行われ、受付場所、ライフジャケット装着場などが着々と進み、10 時に開会式を行いました。第 3 集会所ではカスミサンショウウオ生息地の夜の生き物のビデオが放映されました。最初の船出は 10 時 20 分に出発し、乗船体験が始まりました。風が強く寒いこともあって、出足が弱く昨年並みの集客でした。13 回の運行をしました。カヌーでは最初にドボンが発生しましたが、その後は何事もなく無事に終わることができました。乗船体験した皆さんは楽しかった、来年も行っていきたいと強い期待が寄せられていました。

●木津川希少種植生調査管理業務完了検査の結果合格と認定される

36 ヲ所の希少種の生育調査と 15000 m²の除草作業について報告書を提出し、作業完了届文書を提出し、検査官による点検の結果、合格と認定されました。これまでにこうした書類の作成は経験がなく心配していましたが、何とか形を整えることができました。今回の完成結果の書類を参考にして次年度には多くの皆さんに書類作成の技術手法などを学んでいただきたいと思います。

●2019 年度木津川希少種植生管理業務について里山の会に特定通知が来る

先日作業が公募されました。受注申請書を提出しておきましたところ、他に応募者が無く里山の会に受注することになったとの連絡が届きました。今年も貴少種の保全作業を行うことになりました。昨年と同面積であり、場所数も同様の場所です。3 年目になりますので、多くの皆さんは随分と経験を重ねてきたので、作業の要領も飲み込んでこられたようです。

●日本チョウ類保全協会の事務局長の助言 オオウラギンヒョウモンの再生へ

過日の月曜日にお話が聞けるとの連絡があって、出かけてみました。中村さんはオオウラギンヒョウモンは、ひとむかし前には、木津川を代表する蝶でした。当時の国道 24 号線の路上に車にひかれたものが埋め尽くされていたということです。草原が必要とのことで木津川堤防が最適と考えています。木津川での復活には、食草である、スミレが十分生育しているのかがポイントです。以前に木津川で捕獲した場所を確認する事、また当時の様子をよく知っている人、現地を深く知っている人たちからの聞きとり記録が貴重です。皆さんのご協力をお願いいたします。特に当時の中心地は山城町ということだったらしいです。

●平和堂財団 環境保全活動助成金事業「夏原グラント」

資金贈呈式（20 日 10 時から 草津市のホテル）への出席案内届きました。

●4 月の活動予定

13 日：春の野草を味わう会 10 時 里山農園集合

ご参加の場合はご連絡を里山の会に F A X をお願いします。

ホームページイベント情報をご覧ください

16 日（火）13:30 木津川出張所 「新出張所長」との初顔合わせの開催予定

27 日（土）13:30 第 25 回通常総会 活動報告・決算報告、2019 年度活動方針と予算、役員選出

●近畿子どもの水辺交流会実行委員会による「河川協会への交付金申請（100 万円）」が認定されました

ここ 2 年間、申請が受け付けられなかったもので、開催されませんでした。しかし河川財団への働きかけを継続し組織形態を維持（兵庫県、大阪府、滋賀県、京都府の仲間が結集）してきました。そして河川財団の今井所長の懸命の努力を頂き、3 年ぶりに申請が認められました。実行委員会の継続と働きかけに少し苦勞しましたが、熱意が届きました。（今日の課題である若手世話人・小林君や北野君たち多数迎えられた実績は大へんすごい） 2019 年度（開催は 1 月を予定）には再開できることになりました。大変うれしいニュースです。今回の申請書には京都産業大学教授の鈴木康久氏が作成し提出いただきました。